



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場取引所 名

上場会社名 竹田印刷株式会社  
 コード番号 7875 URL <http://www.takeda-prn.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営統括本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山本 眞一  
 (氏名) 井川 誠

TEL 052-871-6351

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	8,186	6.0	41	—	72	474.5	30	—
27年3月期第1四半期	7,725	△3.3	△23	—	12	△93.2	△25	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 133百万円 (147.2%) 27年3月期第1四半期 54百万円 (△69.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.74	—
27年3月期第1四半期	△3.17	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	29,647	14,369	48.1
27年3月期	31,041	14,240	45.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 14,255百万円 27年3月期 14,123百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	— 円 銭	5.00 円 銭	— 円 銭	6.00 円 銭	11.00 円 銭
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		5.00	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	5.6	100	157.1	120	84.6	50	—	6.21
通期	35,800	3.1	500	3.7	570	3.0	220	4.8	27.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	8,781,000 株	27年3月期	8,781,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	731,701 株	27年3月期	731,652 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	8,049,344 株	27年3月期1Q	8,099,834 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に企業業績が改善しており、緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、個人消費は、消費者マインドに持ち直しが見られつつも、円安による物価上昇の影響などで本格的な回復には至らず、全体としては先行き不透明な状況で推移しております。印刷業界におきましては、企業の広告宣伝需要が復調傾向にあるものの、広告宣伝媒体の多様化と印刷媒体の減少、受注競争の激化による単価の下落により、依然としてきびしい経営環境にあります。

当社におきましては、「Hard+Soft+Heart」を経営理念に掲げ、ものづくりには設備などのハードウェアと、技術などのソフトウェアに加え、心をこめた製品やサービスを通じてお客様に感動やよろこびをお届けするという顧客本位を貫くハートが重要であるとの考えに基づき、お客様満足度No.1を目指しております。経営計画では、売上・生産・受注の量的確保に向けた創注活動の強化を重点指標と定め、提案力の強化を進めております。お客様の潜在的な課題・ニーズを発見しその解決策をご提案する活動を展開するとともに、多様な付加価値提案を行い、新規顧客の開拓と既存顧客への深耕を進めてまいりました。また目標利益の達成に向け、コスト管理の強化や生産性の向上を図り、収益力の向上に努めてまいりました。

こうした取り組みの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は81億86百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。利益面では、営業利益41百万円（前年同四半期は23百万円の営業損失）、経常利益72百万円（前年同四半期比474.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30百万円（前年同四半期は25百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、以下のとおりであります。

## (印刷)

印刷事業では、デジタル技術や物流機能を組み合わせた付加価値提案や、動画などを活用した映像メディア提案を展開し、新しい需要の開拓に注力いたしました。また、従来十分開拓できていなかった業界や得意先企業へのシェア拡大を進めてまいりました。さらに、イベント企画・運営の受託などの販促支援サービスを推進して、お客様の課題解決を通じたお客様満足度の向上に注力いたしました。半導体関連マスク事業では、新規顧客開拓力の強化を図ったほか、中国を中心とした海外事業の強化を進めております。

このような取り組みの結果、印刷事業の売上高は52億29百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。一方、原価率の改善に向け、予算管理の強化、ワークフローの見直し、デザインレビューの強化による個別案件ごとの採算性の向上などに取り組みましたが、営業損益は29百万円の営業損失（前年同四半期は48百万円の営業損失）となりました。

## (物販)

物販事業では、印刷関連事業の高付加価値化と市場創造につながる商品提案や、品質向上・環境性能向上など差別化に向けた商品提案を進めるとともに、自社ブランド商品の展開を強化するほか、展示会、セミナー開催等を通じて印刷事業者の活性化に向けた情報発信を行い、販売促進活動の強化を図ってまいりました。

このような取り組みの結果、物販事業の売上高は31億55百万円（前年同四半期比16.9%増）となりました。営業利益は広告宣伝費の増加などがあったものの、62百万円（前年同四半期比235.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ13億94百万円減少し、296億47百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ15億22百万円減少し、152億78百万円となりました。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1億28百万円増加し、143億69百万円となり、自己資本比率は48.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での平成28年3月期の業績予想は、平成27年5月14日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これに伴う当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,804,145	5,045,686
受取手形及び売掛金	9,461,496	7,914,421
商品及び製品	763,988	600,996
仕掛品	288,373	428,954
原材料及び貯蔵品	154,683	144,568
繰延税金資産	208,232	208,232
その他	489,864	555,510
貸倒引当金	△92,896	△79,751
流動資産合計	16,077,889	14,818,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,662,968	3,601,880
機械装置及び運搬具(純額)	687,574	672,857
土地	5,666,802	5,666,802
リース資産(純額)	1,054,997	989,924
その他(純額)	151,297	156,971
有形固定資産合計	11,223,640	11,088,436
無形固定資産	232,662	223,456
投資その他の資産		
投資有価証券	2,415,511	2,472,900
繰延税金資産	335,847	288,474
その他	889,033	871,730
貸倒引当金	△158,921	△138,672
投資その他の資産合計	3,481,471	3,494,433
固定資産合計	14,937,774	14,806,325
繰延資産	26,240	22,960
資産合計	31,041,904	29,647,904

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,393,603	6,328,095
短期借入金	990,000	941,782
1年内返済予定の長期借入金	782,268	585,723
リース債務	277,618	271,144
未払法人税等	128,211	40,704
賞与引当金	440,241	634,950
その他の引当金	33,335	10,890
その他	1,311,102	1,056,887
流動負債合計	11,356,381	9,870,178
固定負債		
長期借入金	1,406,568	1,434,968
リース債務	822,035	760,190
長期未払金	130,893	117,118
退職給付に係る負債	2,850,888	2,860,442
資産除去債務	184,317	185,362
その他	50,453	50,283
固定負債合計	5,445,156	5,408,365
負債合計	16,801,538	15,278,544
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,937,920	1,937,920
資本剰余金	1,793,446	1,793,446
利益剰余金	10,531,923	10,533,865
自己株式	△538,464	△538,489
株主資本合計	13,724,825	13,726,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	776,475	863,653
為替換算調整勘定	—	26,970
退職給付に係る調整累計額	△377,413	△361,802
その他の包括利益累計額合計	399,062	528,821
非支配株主持分	116,478	113,795
純資産合計	14,240,366	14,369,359
負債純資産合計	31,041,904	29,647,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	7,725,276	8,186,875
売上原価	6,321,993	6,696,268
売上総利益	1,403,282	1,490,607
割賦販売未実現利益戻入額	326	326
差引売上総利益	1,403,609	1,490,933
販売費及び一般管理費	1,426,859	1,449,561
営業利益又は営業損失(△)	△23,250	41,372
営業外収益		
受取配当金	15,288	17,917
受取賃貸料	4,683	4,858
貸倒引当金戻入額	18,308	15,965
その他	18,614	8,178
営業外収益合計	56,895	46,920
営業外費用		
支払利息	16,208	10,993
開業費償却	3,224	3,224
その他	1,512	1,117
営業外費用合計	20,945	15,335
経常利益	12,699	72,957
特別利益		
固定資産売却益	—	1,057
投資有価証券売却益	—	4,340
特別利益合計	—	5,398
特別損失		
固定資産処分損	17,658	5,104
設備移設費用	5,077	—
その他	—	240
特別損失合計	22,735	5,344
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△10,036	73,011
法人税等	13,439	42,065
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,476	30,945
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,244	816
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,721	30,128

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,476	30,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,121	87,177
為替換算調整勘定	—	23
退職給付に係る調整額	8,460	15,610
その他の包括利益合計	77,582	102,812
四半期包括利益	54,106	133,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,861	132,941
非支配株主に係る四半期包括利益	2,244	816

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,216,728	2,508,548	7,725,276	—	7,725,276
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,372	191,286	192,659	△192,659	—
計	5,218,101	2,699,834	7,917,935	△192,659	7,725,276
セグメント利益又は損失(△)	△48,123	18,544	△29,579	6,329	△23,250

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,228,675	2,958,200	8,186,875	—	8,186,875
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	629	197,693	198,322	△198,322	—
計	5,229,305	3,155,893	8,385,198	△198,322	8,186,875
セグメント利益又は損失(△)	△29,149	62,190	33,040	8,331	41,372

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。